

## 内田文雄さん(福原)「現代の名工」に選ばれる

卓越した技能者を厚生労働大臣が表彰する「現代の名工」に、雲州そろばん伝統工芸士の内田文雄さんが選ばれ、その表彰式が十一月七日に東京で行われました。

職人になって五十一年間で培われた技術により、雲州そろばん製作にかかる全工程を一人で作り上げ、業界の第一人者として知られる内田さんは、これまでも経済産業大臣功労賞など数々の賞を受賞されており、全国から数多くある修理依頼も、卓越した技能



と長年の経験を元にした対応で高い評価を受けています。

また、平成九年に発足した雲州そろばん協業組合では、理事として規格の統一や使い勝手の良い新製品の開発などを行い、更には技能・技術指導を通じて後継者育成にも尽力され、業界の発展に寄与されています。

この度、このような技能、功績が認められての受賞となりました。

おめでとうございます。



## 藤原幸治さん(高田)

### 第21回 危険業務従事者 叙勲 瑞宝単光章 (防衛功労) 受章

藤原さんは、昭和四十四年に陸上自衛隊に入隊以来、大津駐屯地、伊丹駐屯地、米子駐屯地などで勤務され、平成十四年十一月に退官されるまでの三十三年余りの間、国防の最前線で任務にあたられました。



### 優秀施行者国土交通 大臣表彰 受賞

#### 植田次夫さん(三所)

その間、山林火災や災害派遣など身の危険も顧みず復旧救助活動に尽力され、この度その功績が認められ、受章の栄に浴されました。

おめでとうございます。



優秀な施行者に国土交通大臣からおくられる表彰、通称「建設マスター」に(有)中林板金にお勤めの植田次夫さんが選ばれました。

この表彰は、モノづくりに関わる者の誇りと意欲を増進させ、建設業の健全な発展に資することを目的に平成四年度から始まった制度で、今年度は県内で四人のみ選ばれました。

植田さんは、板金工となつて三十四年の熟練工で、稲田神社の修繕にも携わられました。

受賞、おめでとうございます。

## 中澤輝雄さん(横田)

### 高齢者叙勲 瑞宝双光章

中澤さんは、昭和二十二年布勢村立布勢中学校教諭として着任から昭和六十一年三月に八川小学校校長で退職するまでの三十九年間の永きわたり奉職されました。

また、退職後は横田公民館館長として平成二年度から平成八年度までの七年間、地域の生涯教育の発展に尽力されました。

この度、その功績が認められ受章の栄に浴されました。

おめでとうございます。

## 三沢小PTA

### 日本PTA全国協議会 会長賞 受賞

三沢小学校PTA(楠貴弘会長)が本年度の日本PTA全国協議会会長賞を受賞することとなり、その受賞式が十一月十九日、東京でありました。

三沢小PTAは二年間にわたり食育に取り組み、お弁当の日や朝食作りなどをすることして家族間のコミュニケーションを促進したり、食べ物に感謝する意識を高め、子どもたちの生活改善を实践されました。

それらの取り組みが評価され今回の受賞となりました。

おめでとうございます。



▲授賞式での楠会長

## 住まいの耐震について学ぶ

島根県主催の「住宅に関する耐震対策講座」が十一月二十八日にカルチャープラザ仁多で開催され、約五十人の参加者が住宅の耐震対策について学びました。

基調講演では、島根大学大学院の丸田誠教授が「地震防災、減災、住宅に関する耐震対策について」をテーマに、建物の設計時のデータを駆使して説明されました。丸田教授が「建物の重さの中心、硬さの中心がずれると、建物がねじれやすい。そのようなことを加味して増改築されるべき」と具体的な事例を示すと、参加者は熱心に聞き入っていました。



## U-16 U-18 ホッケー代表選手 国際大会での活躍を誓う

ホッケー国際大会の日本代表として、仁多中学校三年生の渡部佑太さん、横田中学校三年生の渡部達也さん、横田高校三年生の内田健斗さん、福田健太郎さん、石橋唯今さんが選ばれました。また十二月にオーストラリアのキャンベラで行われる十八歳以下女子チームコーチとして横田高校の恩田賢二教諭が選ばれ、十一月二十二日に仁多庁舎に



て激励会がありました。

井上町長からは「皆さんの頑張りは町民にとって誇り。この大会で海外選手とも友情を結び、得た経験を今後の人生に生かしてほしい」と激励があり、選手たちは「日本で経験できないことを学びたい」「感謝の心を忘れずプレイしたい」と大会への意気込みを語りました。

## 生協しまねと災害時の支援協力協定を締結

生活協同組合しまねと奥出雲町で、災害時ににおける応急生活物資供給などの支援協力に関する協定を締結することとなり、その締結式が十一月二十五日に仁多庁舎でありました。

この協定により、災害発生時に不足しやすい食料を応急的に生協しまねから調達していただくことが可能となり、さらに物資配送についても、生協しまねの配達車のご協力が頂けることとなりました。

生協しまねの安井光夫代表理事長は「組合員の理解のおかげで、このような社会に還元できる活動ができる。今年は各地で災害が多発したが、できる限り住民の方の手助けが出来れば」とあいさつされました。